



9月の園だより

令和7年9月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～小さな世界で感じること～

残暑が厳しい毎日ですが、時折吹く風に少しずつ近づいている夏の終わりをを感じる季節になりました。

保育園では一年間を通して一時的に保育が必要なご家庭の利用を随時受け入れています。この夏も1歳児クラスに新しい友達が来ました。ご家庭を離れて初めての集団生活で戸惑う様子の友達に“どうしたの”と心配して顔を覗き込む子もいます。ほんの半年前には同じような姿があったのに保育園が安心できる場所になっていることを子どもたちの姿から感じます。午睡の時間に眠りのリズムが合わない時には「0歳児クラスにどうぞ遊びに来て」と担任保育士が声をかけてくれました。1歳児クラスとは違う遊びの空間にも友達は興味津々です。チェーンリングを容器にたくさん入れていると一人の0歳児が来て“じゃー”と全部出してしまいました。友達はじっと相手を見つめながらもまた、チェーンを入れ始めました。保育士に対しては十分に自分の気持ちを出しているけれど“自分より小さい友達だから”と何か感じているように見えました。その後もボールを転がし追いかけながらトンネルをくぐったり、滑り台を上り嬉しそうに笑顔を交わしたりと0歳児クラスの子どもの姿を真似て次々と試して遊ぶ姿がありました。子どもたちにとってご家庭とは違う環境の中で受ける刺激が、お互いの成長に繋がる経験となる保育園でありたいと思います。

毎日の夏の遊びに関する準備のご協力をありがとうございます。暑さはまだしばらく続くため、引き続き毎朝の健康チェックと水遊びに関する準備をよろしくお願いいたします。



9月の行事予定

引き渡し訓練
身体計測 避難訓練

10月の行事予定

運動会（全園児）※0、1歳児自由参加
幼児お楽しみ会（3歳児・4歳児・5歳児）
芋ほり遠足（4歳児・5歳児）
身体計測 避難訓練



みんなを守る魔法の手 ～看護師より～

9月9日の『救急の日』にちなみ、子どもたちとのエピソードを紹介したいと思います。

毎朝、各クラスの部屋に子どもたちの様子を見に行っています。「お腹がぞわぞわする」「ここがキーンとするの」など、調子が悪いことやどこかが痛いところがあると伝えてくれます。熱を測っていると、別の子が「私も熱があるかも」と教えてくれるので、手のひらをおでこに当てて「熱はないみたいね。大丈夫だね」と答えると、驚いて「え？先生の手は熱がわかるの？」と聞かれました。「先生の手は体温計だからわかるよ」と話すと、子どもたちはとても感心していました。小さいクラスは、少し前にぶつけた傷を「いたい」と会う度にアピールする子もいます。優しく撫でて「はいもう痛くないよ」と言うと、にっこり満足顔で遊びに戻ります。子どもたちは、私の手を“魔法の手”のように感じてくれているようです。子どもたちの具合が悪い時はもちろん、不安な時にもすぐに駆け付け安心できる、頼れる救急隊員として、寄り添っていきたいです。



プール大好き！

夏を満喫した幼児クラスのプール遊びの様子をご紹介します。



ペンギん組（3歳児クラス）＊初めてのプール楽しかったね＊

幼児クラスになって初めての保育園のプール。ひんやりと冷たい水の感覚や水しぶきにドキドキして緊張する表情も見られましたが、積み重ねていくごとに「プール楽しみー」と張り切っているのが、水着に着替えるのもどんどん早くなりました。ワニ泳ぎやらっこ泳ぎなど自分の好きな生き物になりきって全身で水の感触を思いきり楽しんだり、キラキラビーズの宝探しなど好きな遊びを通して一人ひとりのペースで水に慣れて楽しんでいました。いつの間にか「カメだよ～」「アメンボ泳ぎ！」と次々に水の中の生き物が登場して、自信いっぱい笑顔いっぱいに泳ぐ姿はとても頼もしいです。「プール楽しかったね～」という声がたくさん聞こえたプール遊びでした。



いるか組（4歳児クラス）＊水入れゲーム大作戦＊

去年より水の量が増えて「なんかすごい！」「わあ～気持ちいい」と、それぞれの得意な生き物になって楽しむプール大好きな子どもたちに、新しい楽しみ方が増えました。「今日はたくさん入れるぞ！」と保育士の頭の上に置いたタライに向かって、水を入れるゲームです。水の溜まった量が目に見えてわかるので、どうやったらたくさん入れられるかと、日々工夫して“腕をぐるぐる回し作戦”“お皿の手作戦”などを編み出しました。水しぶきが顔にかかるのがちょっと苦手な子どもも友達の楽しそうな姿に、顔にかからず遠くからも水しぶきをあげられる“後ろ向きバタ足作戦”を思いついて参加していました。最初は中々溜まらなかった水が、今では腕で支えるのがやっとなほど、たくさん入れてしまいます。「重ーい。こんなに入ってる」と水を上に投げると、そのしぶきをシャワーのように浴び歓声を上げているいるか組です。



しろくま組（5歳児クラス）＊もっと！もっと！！＊

みんなで同じ方向へ走ると、大きな渦巻きが生まれます。勢いある水の流れに最初は足を取られていた子どもたちも、繰り返すうちにバランスを取りながらしっかりと足取りで進めるようになっていきました。「いちにのさ～ん」のかけ声で水の流れに体を委ね、浮かんだり潜ったりと水の心地よさを感じながら思い思いに楽しむ子どもたち。ホースから勢いよく降り注ぐ“大雨”にも「気持ちいい」「楽しい」と声をあげながらスイスイと潜り抜けていく姿はまるで魚のようでした。友達の姿にも刺激を受け「やってみたい」という気持ちが自然と高まっていった夏。「もっと高く！もっと遠くまでジャンプしたい」「もっと深く潜りたい」と、自分の力に挑戦する姿もたくさん見られました。存分に楽しむ中で、手ごたえを感じている子どもたちの姿は一回り大きく成長したように思います。

